

平成24年(2012)

7月1日(日)

発行所 田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区
北橋2-6-18

新ワクチン

平成24年 夏号

監修:川崎医科大学小児科学
教授 中野 貴司 先生

平成24年夏号のトピックス

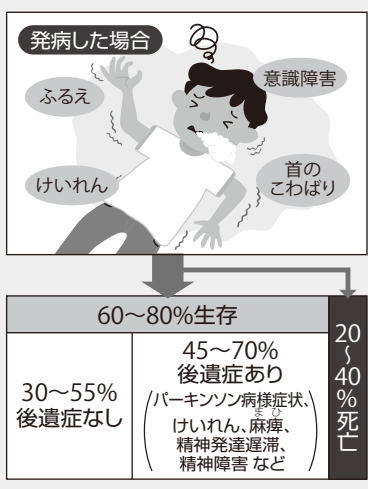
- 予防が大切、日本脳炎
- ポリオ(急性灰白髄炎)という病気
- 夏のかぜ、冬のかぜ
- ワクチンギャップの解消に向けて

予防が大切、日本脳炎

日本脳炎は、コガタアカイエカ(蚊)により媒介され、日本脳炎ウイルスにより生じる感染症です。アジアで広く流行している病気で、毎年、3万5千~5万人の患者が発生しており、1万~1万5千人が死亡していると推定されています。

日本脳炎は、感染しても症状が現れない(不顕性感染)といいますが、ケースがほとんどですが、発病した場合は致死率が高く、特に幼児や高齢者の死亡率が高いといわれ、深刻な後遺症を残すこともあります(図1)。

図1 日本脳炎を発病した場合



国立感染症研究所感染症情報センターホームページより作成

かかるまえにできること

わが国には、現在も日本脳炎ウイルスが存在しています。平成14年からの10年間で、57人の発症が報告されており、子どもでは、平成18年以降6人が発症しています。

日本脳炎に特異的な治療法はなく、ワクチンによる予防が最も大切です。

ポリオ(急性灰白髄炎)という病気

ポリオは、ポリオウイルスが口から入り、のどや腸内で増殖する感染症です。9割以上の人は症状がなく(不顕性感染)、4~8%の人は「かぜ様症状(発熱、頭痛、嘔吐など)」が現れます(表1)。

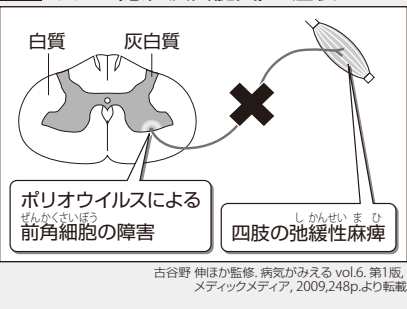
しかし、ポリオウイルスが腸ではなく、脊髄や脳へ到達すると、その部分の細胞が破壊されます。脊髄の運動神経(脊髄前角細胞)はポリオウイルスに障害されることが多く、麻痺の症状を起します(図2)。特に5歳未満の子どもは本疾患にかかりやすいので、「小児麻痺」とも呼ばれますが、子どもだけでなく大人のポリオもあります。

表1 ポリオウイルスの臨床病型

不顕性感染	90%以上
かぜ様症状のみ	4~8%
急性灰白髄炎	1%以下

国立感染症研究所「ポリオワクチンに関するファクトシート」より作成

図2 ポリオ(急性灰白髄炎)の症状



古谷野 伸ほか監修、病気がみえる vol.6, 第1版, メディックメディア, 2009, 248p.より転載

夏のかぜ、冬のかぜ

除されていない国があります。海外からの輸入感染を防ぐためにも、ワクチンによる予防が大切です。

もうすぐ待望の夏休みです。この季節は、暑さで食欲不振になったり、夜更かしで体調を崩しやすくなります。こうした時、いわゆる「夏のかぜ」にかかりやすくなるので注意が必要です。

「かぜ」は冬にかかる病気と思われがちですが、「かぜ」の原因となるウイルスは200種類以上あり、その中には、夏の暑さと湿気を好むウイルスもいます(図3)。

このように、一口に「かぜ」といってもその原因は様々であり、これらを完全に予防することは困難です。

「かぜ」にかかりにくくするためには、手洗いうがいを基本とし、規則正しい生活とバランスのよい食事を常に心がけましょう。

図3 夏のかぜと冬のかぜ例

- 「夏のかぜ」代表例
- アデノウイルス... 咽頭結膜熱
 - エンテロウイルス... ヘルパンギーナ、手足口病
- 「冬のかぜ」代表例
- インフルエンザウイルス(A型、B型等)
 - RSウイルス
 - コロナウイルス

ワクチンギャップの解消に向けて

海外では接種することのできるワクチンが、日本では接種できない、という「ワクチンギャップ」が問題となっていました。今ではこうしたギャップは改善されつつあります。

わが国では、予防接種法に基づき予防接種を「定期接種」、それ以外を「任意接種」と呼んでいます。近年「ワクチンギャップ」を解消すべく新たなワクチンが導入されていますが、「定期」ではなく「任意」の位置付けとなっています。

しかし、世界全体では、今なおポリオウイルスが排

そこで、5月23日、厚生労働省予防接種部会において、「定期接種」に図4の7ワクチンが追加されることでの意見がまとまり、今後、国会審議等を経て、法制度の改正となる見通しです(来年度以降といわれています)。

もちろん、法改正が正式に行われる前でも、これら疾患のワクチンはすべて感染予防のため大切であることは言うまでもありません。

予防できる感染症は予防しましょう。

図4 「定期接種」が検討されているワクチン

- 子宮頸がん予防ワクチン
- インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン
- 小児用肺炎球菌ワクチン
- 水痘ワクチン
- おたふくかぜワクチン
- B型肝炎ワクチン
- 成人用肺炎球菌ワクチン

※水痘=みずぼうそう

【主な感染症がはやる季節】

月	春			夏			秋			冬			春			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
麻疹	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
風しん																
みずぼうそう																
おたふくかぜ																
インフルエンザ																
感染性胃腸炎(ロタ)																
感染性胃腸炎(ノロ)																
ヘルパンギーナ																
手足口病																
咽頭結膜熱(プール熱)																
溶連菌感染症																
突発性発疹																

一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。

□ ピーク時 ■ 通年

7月6日は「ワクチンの日」1985年のこの日、フランス人科学者リュ・パスツール博士が開発した近代ワクチン(狂犬病ワクチン)が、9歳の少年ジョゼフ・マイスター君に接種されました。